

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成27年7月2日

施設名	春野総合運動公園	所管課名	土木部 公園下水道課
-----	----------	------	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県スポーツ振興財団	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
施設所在地	高知市春野町芳原		
事業内容	1. 施設の運営に関する業務 ・施設及び設備の利用に関する業務 ・施設等の利用料金の徴収等 2. 施設等の維持管理に関する業務 ・運動施設管理業務 ・植栽管理業務 ・施設等保守管理業務 ・清掃業務 ・警備業務 3. 公園全般に係るその他の業務 ・利用案内、関係機関等との連携・協力、要望・苦情処理、緊急事態の対応		
施設内容	公園面積59.7ha、供用日：1月4日から12月28日、供用時間：8:30～17:00 運動施設(野球場：20,900㎡・収容人員16,000人、陸上競技場：400mトラック・収容人員25,000人等) 遊戯施設(ちびっこ広場、散策道、展望台) 便益施設(管理事務所、駐車場、トイレ、シャワー) その他の施設(宿泊施設、飲食店、売店)		
職員体制	職員：2人 無期職員：30人 短期職員：4人 合計：36人		

2 収支の状況

単位：円

		25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)
収入	県支出金	198,203,000	220,619,000	216,474,000
	使用料・手数料	70,120,110	63,429,765	68,914,000
	その他	9,701,583	4,583,678	2,512,000
	収入計 (a)	278,024,693	288,632,443	287,900,000
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	201,859,958	202,893,169	204,609,000
	人件費	83,666,545	85,739,274	83,291,000
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	285,526,503	288,632,443	287,900,000
収支差額 (a)－(b)		-7,501,810	0	0

3 利用状況

	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	532,281	429,648	470,000
②利用者意見等の反映	<p>○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水泳場、体育館、陸上競技場において、アンケート調査を実施(通年・意見箱設置) 調査結果や要望を受け、パークゴルフ場OBネット補修や、陸上競技場砂場カバー交換等を行った。 また、要望の多いテニスコート、トレーニングルームの正月営業を引き続き実施した。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> アルビレックス新潟を始めとするプロサッカーのキャンプにおいて、要望のあった公用車の貸与や機器の設置を行った。 多目的広場の芝養生期間を短縮し、利用可能期間を増やすため、コース変更を行った。 前年に続き、陸上競技場の供用日時を変更し、1月2日、3日に都道府県駅伝大会の強化合宿練習会のために使用を認めた。 		
③その他特記事項			

4 平成26年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> 協定書、仕様書及び事業計画に基づく適正な運営管理が実施された。 例年、スポーツキャンプやイベントの誘致協力に努めており、観光コンベンション協会との連携も図られた。 前年度に引き続き、「高知龍馬マラソン」が約7,000人の参加者を迎えて開催された。 利用調整会議等の機会に要望を聞き取り、ニーズに応じて自主事業を実施した。 植栽管理について、高所作業車を配備し専門職員を配置して直営で実施することにより、コストを縮減した。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> プロキャンプの状況や各チームの要望等を把握し、各チームの希望するグラウンドコンディションを迅速に調整するなど、高い評価を得た。 例年に引き続き、施設の改善、正月営業等により、利用者サービスの向上を図った。 好評だった自主事業は継続し、さらに新たな自主事業を展開した。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場、体育館の改修による利用休止の影響で、利用人数は大幅に減少した(前年比約100,000人)。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場、体育館の改修工事の影響で、利用料収入は大幅に減少した(前年比約670万円)。 施設の老朽化が進んでいることから、修繕費は増大し続けており、前年度と比べ1,000,000円以上増加した。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> 協定書、仕様書及び事業計画の内容、目標に基づく管理運営業務が実施された。 苦情への対応について、試行錯誤をしつつも前向きに行うことが出来た。こうした経験やノウハウが、今後の運営に活かされるものとする。 施設改修の影響で、利用者数・利用料収入ともに大きく減少したが、それを補うためのイベントを自主事業で実施するなど、前向きな運営姿勢がみられた。

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの